

当院での低カリウム緊急状態でのカリウム補正方法

血ガス K値 2.3-3.0の時

輸液ポンプ(精密持続点滴)

KCL注キット* K:10mEq/10mL	2キット
生食注 50mL	0.6瓶

【 中心静脈ルート-①本目 】 1 時間かけて必ず中心静脈から投与

血ガス K 値 3.1-3.8 の時

輸液ポンプ(精密持続点滴)

KCL注キット* K:10mEq/10mL	1キット
生食注 50mL	0.8瓶

【 中心静脈ルート-①本目 】 1 時間かけて必ず中心静脈から投与

添付文書記載の用法・用量

7. 1. 本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず希釈して使用すること
(カリウムイオン濃度として 40 mEq/L 以下に必ず希釈し、十分に混和した後に投与すること)。

7. 2. ゆっくり静脈内に投与し、投与速度はカリウムイオンとして 20 mEq/hr を超えないこと。

7. 3. カリウムイオンとしての投与量は1日 100 mEq を超えないこと